

令和5年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立出雲小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・学習意欲を高めるために、体験的な活動を導入し、児童が楽しく取り組めるよう、工夫できた。
- ・スクールサポーターの協力を得て、ミシン操作や調理実習の個別指導をし、基本的な技能を身に付けることができた。
- ・交流活動を工夫し、授業中に友達同士で教え合ったり、協力し合ったりする場面を多く設けることができた。

(2) 課題

- ・授業で学んだことを、日常的に家庭生活で実践するまでには至らなかった。宿題等を出し、家庭との協力を図れるようにする必要がある。
- ・手縫いなどの技能については、習熟差が大きい。休み時間等を活用し、個別指導を行う必要がある。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第5学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・正しく器具や道具を扱えるように動画や実演などで、使い方やポイントを丁寧に説明する。個別指導を行う等、技能の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを表現しやすくなるように、例を示したり、グループで話し合ったりして、一人一人が発表する場を設け、個人の意見を全体で共有できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活についてふり返り、自ら課題を見付けられるようにする。 ・完成作品や制作方法等を提示し、見通しがもてるよう工夫する。

(2) 第6学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・第5学年で学習したことと関連付けながら、動画や実演などで、道具の使い方やポイントを丁寧に説明する。個別指導を行う等、技能の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを表現できるように、手がかりを示したり、グループで話し合う場を設けたりして、個人の意見を全体で共有できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活について振り返り、自ら課題を見付けられるようにする。 ・完成作品や制作方法等を提示し、見通しがもてるよう工夫する。